

令和8年度「大分県学力定着状況調査」「全国学力・学習状況調査」別府市の結果

別府市教育委員会

1 調査結果公表の目的

令和8年度「大分県学力定着状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」の調査結果、及び別府市全体の課題と課題解決の方策を公表することにより、別府市児童生徒の学力向上に向けて、学校・家庭・地域がそれぞれの果たすべき役割を認識し、一体となって取組を推進する機運を高めることを目的としています。

2 調査の概要

	大分県学力定着状況調査（大分県教育委員会実施）	全国学力・学習状況調査（文部科学省実施）
調査目的	県内小中学校および義務教育学校の児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
実施日	令和8年4月16日（木）	令和8年4月23日（木）
調査対象	小学校第5学年及び中学校第2学年	小学校第6学年及び中学校第3学年
調査事項	○国語（「知識」及び「活用」に関する問題） ○算数・数学（「知識」及び「活用」に関する問題） ○社会（「知識」及び「活用」に関する問題）＜中のみ＞ ○理科（「知識」及び「活用」に関する問題） ○英語（「知識」及び「活用」に関する問題）＜中のみ＞ ○総合質問調査（自己認識・社会性、学級環境、生活・学習習慣等に関する調査）	○国語 ○算数・数学 ○英語＜中のみ＞ ○児童生徒質問調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

3 調査結果

① 令和8年度大分県学力定着状況調査

学年	小学校5年生					
項目 \ 教科	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
全国平均正答率	72.5	59.3	65.8	57.6	70.6	45.3
大分県平均正答率	73.5	60.8	68.1	59.4	72.0	46.7
大分県偏差値	50.6	50.7	51.2	50.8	50.7	50.5
別府市正答率	73.2	62.2	69.1	61.0	73.7	49.0
別府市偏差値	50.4	51.1	51.6	51.4	51.6	51.4

学年	中学校2年生									
項目 \ 教科	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
全国平均正答率	66.5	53.7	50.1	44.6	61.4	43.9	54.5	45.8	51.7	48.2
大分県平均正答率	68.9	55.4	52.0	45.6	63.4	44.6	57.5	46.7	50.0	46.0
大分県偏差値	51.4	51.0	51.3	50.7	51.1	50.6	51.7	50.7	49.7	49.7
別府市正答率	68.9	57.3	52.5	46.1	61.4	42.8	58.2	46.7	48.1	44.1
別府市偏差値	51.1	51.3	51.2	50.6	50.0	49.5	51.7	50.4	48.5	48.6

② 令和8年度全国学力・学習状況調査

学年	小学校6年生		中学校3年生		
項目 \ 教科	国語	算数	国語	数学	英語
全国平均正答率	60.9	56.4	63.9	57.0	(499) ※IRT スコア
別府市正答率	64	58	65	55	(487) ※IRT スコア

※IRT スコア：IRT（Item Response Theory）は項目反応理論と呼ばれ、テストの各問題（項目）に対する受験者の反応から受験者の能力を推定する統計的手法です。

※上記調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

4 令和8年4月に調査を実施した各学年の概況

小学校5年生（大分県学力定着状況調査）	中学校2年生（大分県学力定着状況調査）
○偏差値による比較 ・9年連続で、6項目全てで偏差値50を上回っている。 ○全国平均正答率との比較 ・6項目全てにおいて、全国平均正答率を上回っている。 ○大分県平均正答率との比較 ・5項目において、大分県平均正答率を上回っている。 ○これまでの各種調査結果との比較 ・6項目全てで全国平均正答率を上回っているが、小学校3年の別府市学力調査結果と比較すると、正答率（全国平均との差）が向上している項目は2項目となっている。引き続き、指導・支援による学力の着実な定着を図る必要がある。	○偏差値による比較 ・数学（活用）・英語（知識・活用）を除いて、偏差値50を上回っている。 ○全国平均正答率との比較 ・数学（活用）と英語（知識・活用）を除いて、全国平均正答率を上回っている。 ○大分県平均正答率との比較 ・2項目において大分県平均正答率と同等、4項目において大分県平均正答率を上回っている。 ○これまでの各種調査結果との比較 ・数学（活用）と英語（知識・活用）を除いて、全国平均正答率を上回っているが、中学校1年の別府市学力調査結果と比べると、向上したのは4項目となっており、引き続き、指導・支援による学力の着実な定着を図る必要がある。
小学校6年生（全国学力・学習状況調査）	中学校3年生（全国学力・学習状況調査）
○全国平均正答率との比較 ・国語は3.1ポイント、算数は1.6ポイント全国平均正答率を上回っている。 ○これまでの各種調査結果との比較 ・小学校5年時の大分県学力定着状況調査、別府市学力調査では、国語、算数、理科ともに全国平均正答率を上回っており、全国学力・学習状況調査においても国語・算数ともに全国平均正答率を上回った。全国学力・学習状況調査では若干の伸び悩みが見られることから、全国調査問題に対応できる学力を更に育む必要がある。	○全国平均正答率との比較 ・国語は1.1ポイント全国平均正答率を上回っており、数学は全国平均正答率を2.0ポイント、英語は全国平均IRTスコアを12.0ポイント下回っている。 ○これまでの各種調査結果との比較 ・中学校2年時の別府市学力調査では、1項目（英語の基礎）を除き、すべての項目で全国平均正答率を上回ったが、全国学力・学習状況調査では全国平均正答率および平均IRTスコアを上回ったのは国語のみであった。引き続き、全国調査問題に対応できる学力を育む必要がある。

5 学習や生活の状況【児童・生徒質問より】

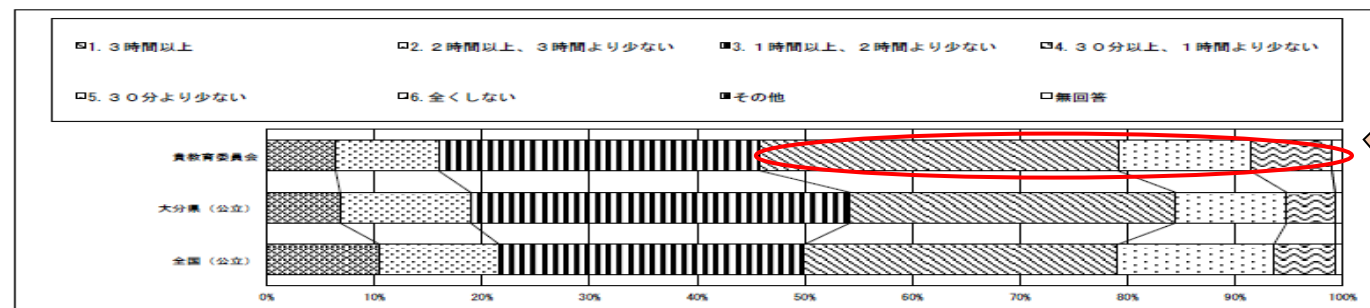
① 家庭学習習慣（時間）

【令和8年4月 小学校6年生】

質問番号	質問事項											
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	6.4	9.6	29.9	33.3	12.3	7.6					0.0	1.0
大分県（公立）	6.8	12.1	35.2	30.2	10.3	4.5					0.0	0.7
全国（公立）	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7					0.0	0.7

①家庭学習時間1時間未満の児童の割合は、53.2%。
 〔令和7年度 49.7%〕
 〔令和6年度 46.6%〕

②別府市の1日当たりの学習時間が1時間未満の児童の割合は、全国・県より高い。

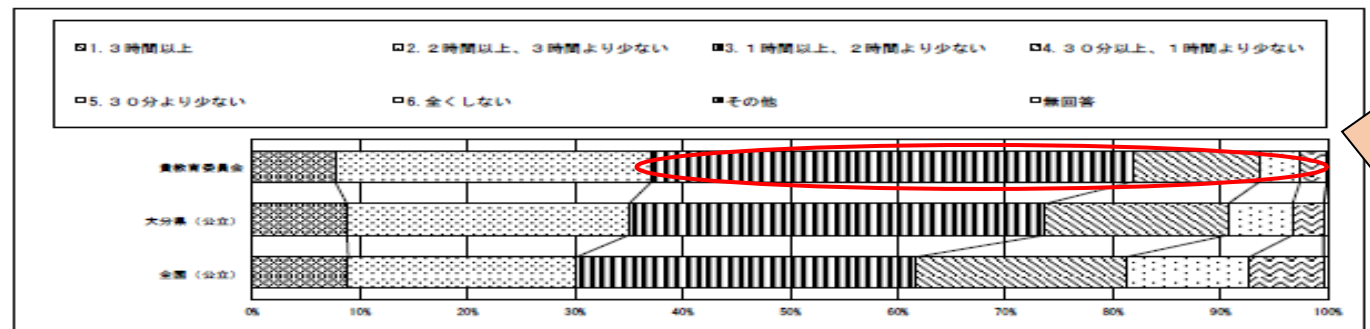


【令和8年4月 中学校3年生】

質問番号	質問事項											
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	7.7	29.4	44.7	11.8	3.8	2.5					0.0	0.1
大分県（公立）	8.8	26.2	38.7	17.0	6.0	2.9					0.0	0.4
全国（公立）	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9					0.0	0.4

①家庭学習時間2時間未満の生徒の割合は、62.8%。
 〔令和7年度 59.6%〕
 〔令和6年度 59.8%〕

②別府市の1日当たりの学習時間が2時間未満の生徒の割合は、全国・県より低い。



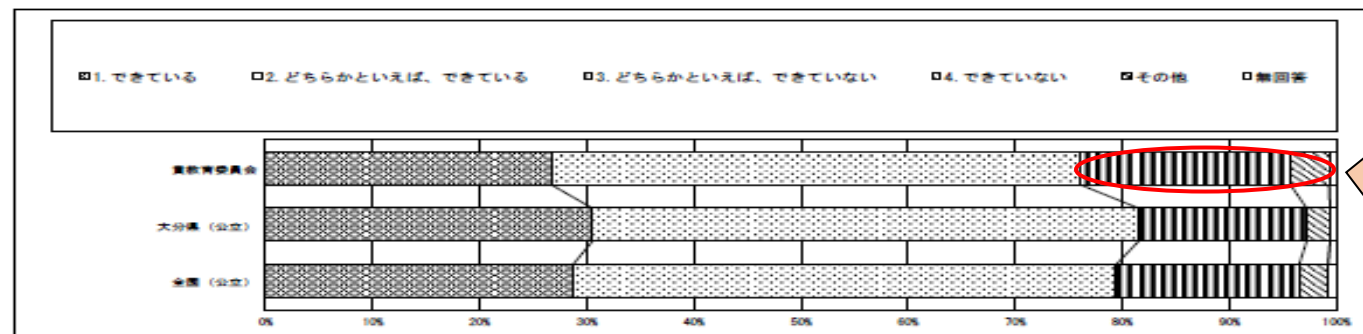
②家庭学習習慣（学びに向かう力）

【令和8年4月 小学校6年生】

質問番号	質問事項											
(22)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	26.7	49.4	19.6	3.6							0.0	0.7
大分県（公立）	30.5	51.0	15.7	2.2							0.0	0.6
全国（公立）	28.7	50.7	17.1	2.7							0.0	0.8

①「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の質問に、「どちらかといえば、できていない」「できていない」と回答した児童の割合は、23.2%。

②別府市の「どちらかといえば、できていない」「できていない」と回答した児童の割合は、全国・県より高い。

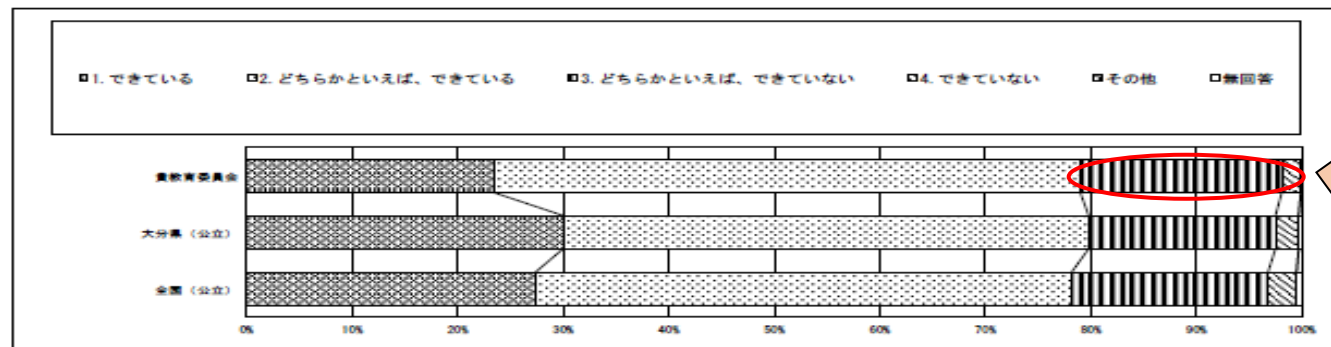


【令和8年4月 中学校3年生】

質問番号	質問事項											
(22)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	23.4	55.6	19.1	1.8							0.0	0.1
大分県（公立）	30.0	49.8	17.7	2.2							0.0	0.3
全国（公立）	27.4	50.8	18.6	2.7							0.0	0.5

①「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の質問に、「どちらかといえば、できていない」「できていない」と回答した生徒の割合は、20.9%

②別府市の「どちらかといえば、できていない」「できていない」と回答した生徒の割合は、県より高く、全国より低い。

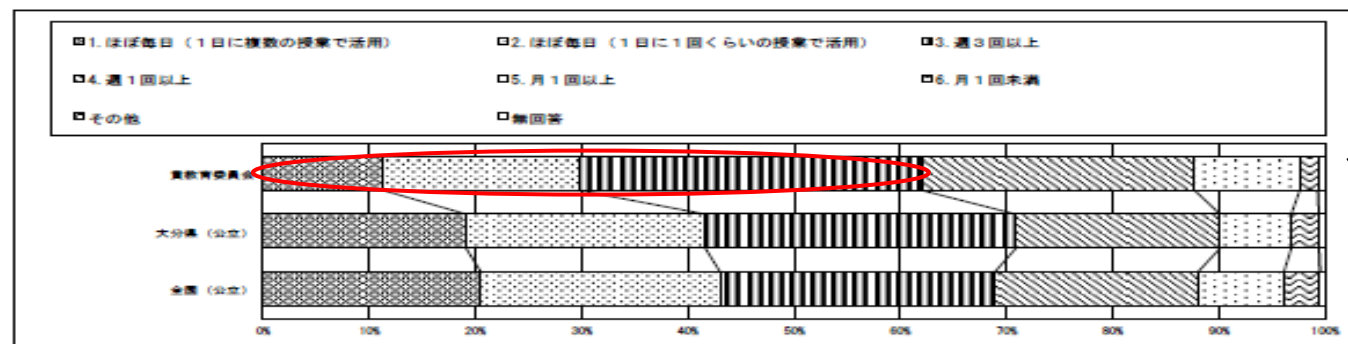


③授業における ICT 活用
【令和8年4月 小学校6年生】

質問番号	質問事項											
(35)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	11.3	18.4	32.3	25.7	9.9	1.7					0.0	0.7
大分県（公立）	19.1	22.5	29.2	19.2	6.7	2.6					0.0	0.6
全国（公立）	20.5	22.5	25.6	19.1	8.1	3.4					0.0	0.5

①「授業でICT 機器をどの程度使用しましたか」の質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合は、62.0%。

②別府市の「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合は、全国・県より低い。

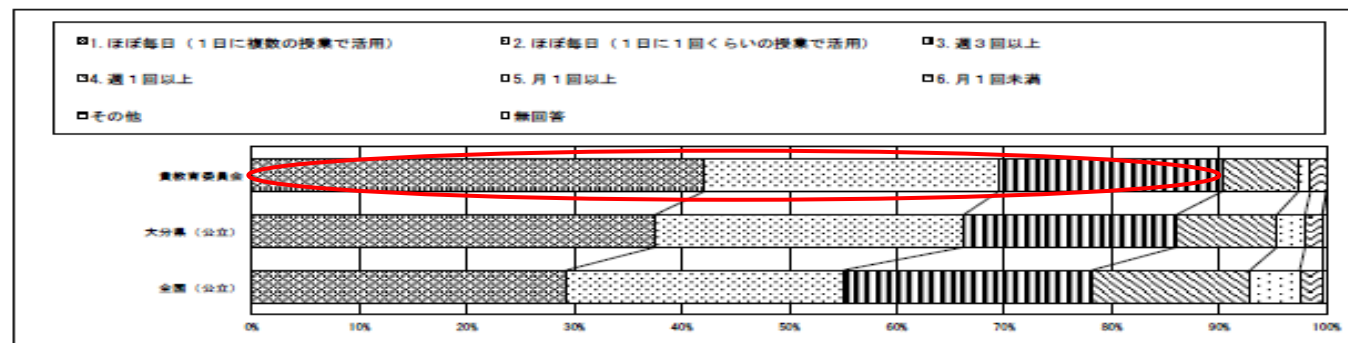


【令和8年4月 中学校3年生】

質問番号	質問事項											
(36)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	42.1	27.4	20.8	7.1	1.1	1.5					0.0	0.0
大分県（公立）	37.6	28.7	19.8	9.3	2.6	1.6					0.0	0.4
全国（公立）	29.3	25.8	23.1	14.7	4.6	2.1					0.0	0.4

①「授業でICT 機器をどの程度使用しましたか」の質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒の割合は、90.3%。

②別府市の「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒の割合は、全国・県より高い。



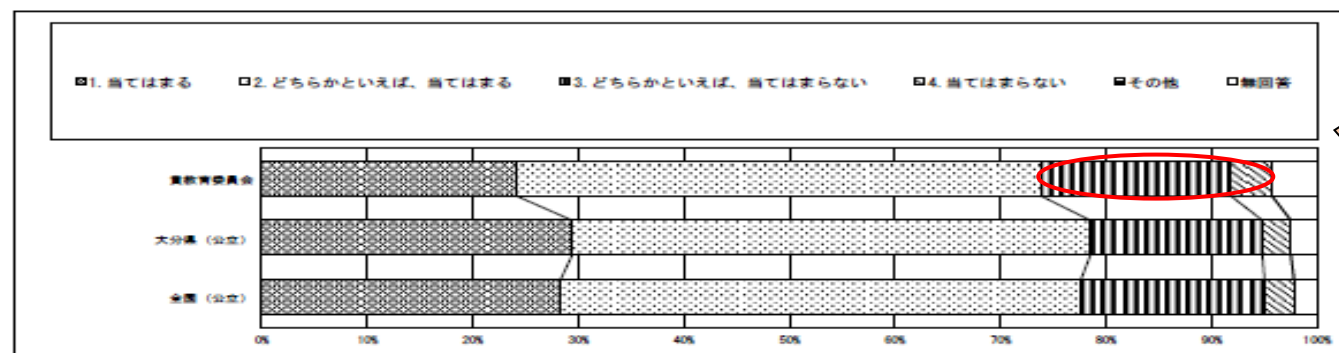
④主体的な学び

【令和8年4月 小学校6年生】

質問番号	質問事項											
(39)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	24.1	49.7	18.0	3.9							0.0	4.3
大分県（公立）	29.4	49.1	16.3	2.7							0.0	2.5
全国（公立）	28.3	49.3	17.4	2.8							0.0	2.2

①「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」の質問に、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童の割合は、21.9%。（R7：22.1%）

②別府市の「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童の割合は、全国・県より高い。

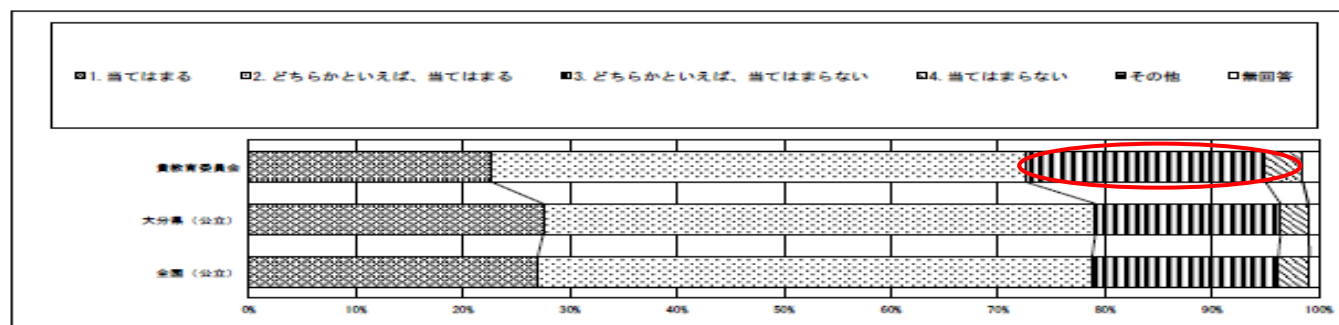


【令和8年4月 中学校3年生】

質問番号	質問事項											
(39)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	22.7	49.9	22.4	3.5							0.0	1.5
大分県（公立）	27.5	51.6	17.3	2.6							0.0	1.0
全国（公立）	27.0	51.8	17.4	2.9							0.0	0.9

①「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」の質問に、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した生徒の割合は、25.9%（R7：25.0%）

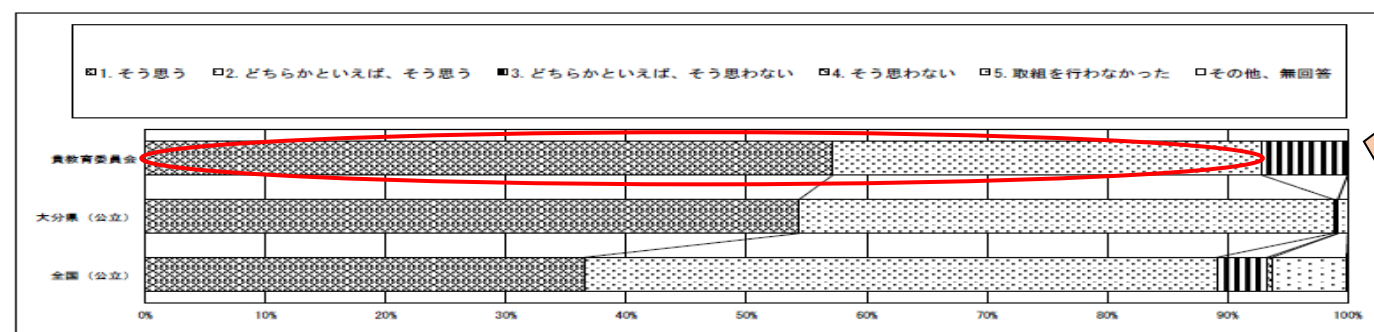
②別府市の「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した生徒の割合は、全国・県より高い。



6 保護者や地域の人との協働【学校質問紙より】

【令和8年4月 小学校14校】

質問番号	質問事項										
(79)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
貴教育委員会	57.1	35.7	7.1	0.0	0.0						0.0
大分県（公立）	54.4	44.4	0.4	0.0	0.8						0.0
全国（公立）	36.5	52.6	4.2	0.4	6.2						0.1

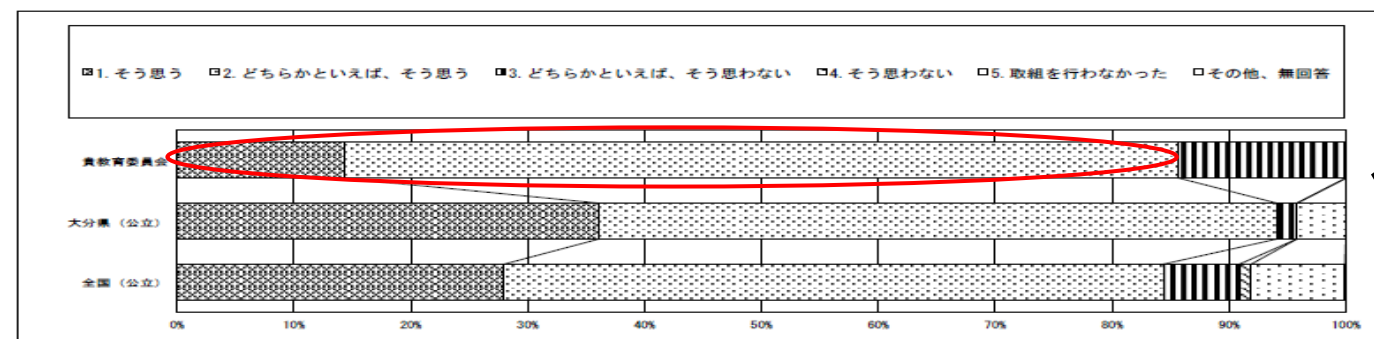


①「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」の質問に「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合は、92.8%。

②別府市の「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した学校の割合は、県より低く、全国より高い。

【令和8年4月 中学校7校】

質問番号	質問事項										
(87)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
貴教育委員会	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0						0.0
大分県（公立）	36.1	58.0	1.7	0.0	4.2						0.0
全国（公立）	28.0	56.4	6.5	1.0	8.0						0.1



①「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」の質問に「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合は、85.7%。

②別府市の「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した学校の割合は、県より低く、全国より高い。

7 今後の取組

【 教育委員会 】

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。
- 子どもの実態の変化を短期的なサイクルで客観的に評価できるよう、1月に別府市学力調査を実施します。
- 学校が地域や家庭と協働して教育を行えるよう、コミュニティ・スクールを推進します。
- ICT機器（AIドリル等）を効果的に活用した学びを推進するとともに、それを実現する環境整備を進めます。

【 学 校 】

- 各種調査結果に基づいて各学校が作成する「学力向上プラン」を確実に実施し、短期で評価、補充をします。
- 子どもを主体とした授業の実現に向け、組織的な校内研究・研修の充実を図ります。
- 思考力・判断力・表現力の育成に向け、「考える」「書く」「説明する」等の学習活動を授業の中に位置づけます。
- 個々に応じた学習をする時間を確保すると同時に、その効果について確実に評価します。
- ICT機器（AIドリル等）の活用、小テストや振り返りの時間、家庭学習プリント、問題データベースの活用等を通して学習内容を定着させます。
- 家庭や地域と育成を目指す資質・能力を共有し、学校の教育活動について情報を発信したり、協議したりして、協働して取り組みます。

【 家庭・地域 】

- 「家庭学習の手引き」等を活用して、家庭学習の時間を設定したり、学習環境を整えたりしてください。
- 小学校低学年から家庭学習に取り組む習慣をつけ、学習の跡を褒めてください。
- 子どもが読書をする時間を設定したり、読書ができる環境を整えたりしてください。
- 学校の諸行事、地域行事等、あらゆる場面で子どものよりよい成長を促してください。